

ほ におい 穂 番 タイムス <8月号>

8月は、「北方領土返還運動全国強調月間」です。北海道も8月を「北方領土返還要求運動強調月間」とし、様々な啓発事業をおこなっています。

今月は、7日に二・ホ・ロ横の特設会場で北方領土返還要求根室市民大会が行われたほか、街頭署名活動や「北方領土ノサップ岬マラソン大会（21日）」が予定されています。北方領土問題を国内外に広く発信し、多くの人に北方領土について知ってもらうために、各種事業に積極的に参加しましょう。



返せ！北方領土！



北方四島交流センター

ニ・ホ・ロの最近の出来事

「見て知る北方領土」展示会～北方領土返還要求運動の歴史～

開催中です（8月31日まで）



ニ・ホ・ロのロビーでは、8月1日から、北海道北方領土対策根室地域本部が主催する「見て知る北方領土」展示会を行っており、今回は「北方領土返還要求運動の歴史」について、わかりやすく解説されています。期間内にぜひご覧ください。

「2010根室フォトコンテスト」入賞作品展 開催中です（8月31日まで）



根室市観光協会が主催する「2010根室フォトコンテスト」の入賞作品を展示しています。根室の四季をさまざまな角度からとらえた秀逸な作品がそろっています。ぜひ期間内に足を運んでみてはいかがでしょうか。また、2011根室フォトコンテストの募集要項も設置してあります。

本年度も「のさっぷ号」の運行がはじまりました。



7月16日から平成23年度の「根室半島一周北方領土問題啓発バス（のさっぷ号）」の運行がはじまりました。9月19日まで毎日運行されます。[B]風蓮湖コースは10時45分に駅前ターミナルを出発し、12時55分～13時30分までニ・ホ・ロに滞在します。「のさっぷ号」を利用してのご来館をお待ちしております。詳細は根室市観光協会 Tel. 0153-24-3104 まで。

北方四島交流スピーチコンテストが催されました

7月12日に、はじめての北方四島スピーチコンテストが行われました。根室管内では、ビザなし交流を機にロシア語学習の取り組みが行われており、平成13年度から道推進委員会の事業として行われている日本語習得研修受入事業10周年を契機として、双方の成果を披露、確認しあう場として開催されました。ロシア側は「日本語で」日本で出会った街や人について、また、住んでいる島の様子などについてスピーチし、日本側はロシア語との出会いなどを「ロシア語で」スピーチしました。時折笑いもおきる中で、審査も難航したようでしたが、夕食交流会の中で入賞者が発表されました。



出場者の顔ぶれ（審査員の講評で「ジャーナリスト」「役者」「先生」「お母さん」のような話し方などと評されたように、各々話し方にも特徴があり、個性豊かで楽しいスピーチコンテストとなりました。）



【悩む審査員】



夕食交流会



日本語スピーチ優勝



ロシア語スピーチ優勝

北方四島交流青少年訪問団 34 名がやってきました

7月15日に、平成23年度の青少年訪問団（団長 ベレジューク・エリーナ・フェリクソブナ）34名が来訪し、20日までの6日間、二・ホ・ロを拠点に根室管内1市4町で様々な体験や、交流事業が行われました。

根室市内でも14の家庭や事業所でのホームビジットをはじめ、柏陵中学校の生徒との交流、剣道やサッカー、スポーツ吹矢などのスポーツ交流や華道などの日本文化の体験で友好と相互理解の促進が図られました。これらの模様は、近く写真展で紹介します。



来館者ニュース

日本青年団協議会（H23. 7. 18）



7月16日～18日にかけて根室市において開催された「第42回北方領土復帰促進婦人・青年交流集会」に参加された日本青年団協議会の皆様が二・ホ・ロを視察されました。

視察後のミーティングでは、さらに青年団協議会の参加者を増やすための取り組みなどについて論議されており、熱心な活動の一端を垣間見ることができました。また、次回のご来館をお待ちしております。

【みなさんには（二・ホ・ロクイズ）にも参加していただき、ありがとうございました。】

静岡県御殿場市議会（H23. 7. 27）



静岡県御殿場市議会（会派みくりや）の皆さん4名が行政視察のために来館され、二・ホ・ロが設置された背景や、施設の概要や利用方法、また、二・ホ・ロ職員と北方領土問題に対する意見交換等を行いました。北方領土問題に対する多くのご質問もいただきました。ありがとうございました。

ふくしまキッズ（H23. 7. 29）



NPO 法人などが主催する「ふくしまキッズ夏季林間学校」に参加した28名（うちこども22名）が海や草原で遊んだあと 二・ホ・ロを訪れ、北方領土についての勉強をしました。高橋専門員（元島民）の話聞いたあとで、熱心にいくつも質問をしていました。全国の子供たちが二・ホ・ロに来ていただける機会があると良いですね。

遠軽 JC「遠軽町小学生北方領土学習会」（H23. 7. 30）



遠軽青年会議所が主催する小学生を対象とした「北方領土学習会」で来訪した 25 名（うち小学生 13 名）が、二・ホ・ロを訪れ、高橋専門員の北方領土の島に関する講話や館内の資料で勉強しました。遠軽 JC の皆様ご苦労さまでした。次回もお待ちしております。



第50次沖縄豆記者団（50名）と平成23年度函館豆記者団（16名）の北方領土取材班が来訪し、根室市の石垣副市長から北方領土問題について取材するとともに、根室市内の中学生と交流しました。豆記者団からは島の名前の由来やロシア人との交流方法、返還運動の内容などのほか、新聞に載っていた「ピザなし特区」についての質問や、自分たちができることは何かという質問も出され、石垣副市長の答えに耳をかたむけ、一生懸命メモをとっていました。

また、地元の中学生との交流では、沖縄空手の型や沖縄のおどりが披露され、沖縄豆記者の司会により根室の中学生との意見交換などが行われました。是非この経験を生かし、北方領土問題を多くの人に伝えていただきたいと思います。



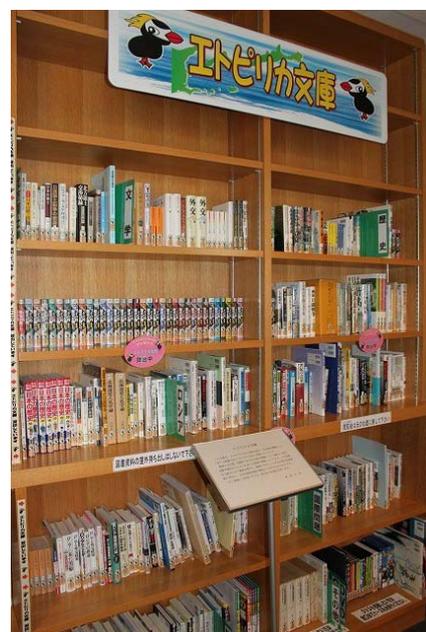
北海道大学スラブ研究センター（H23. 8. 6）



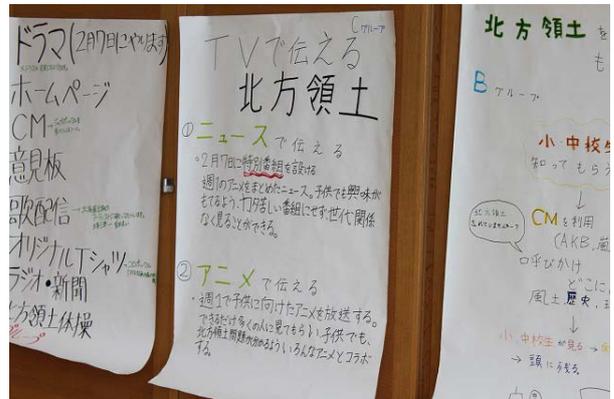
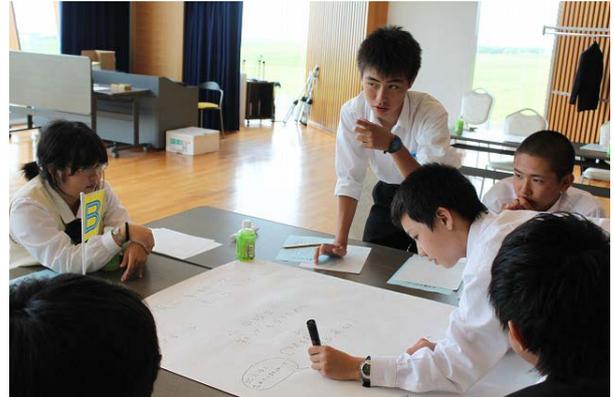
北海道大学スラブ研究センターの18名が、二・ホ・ロを訪れ、長谷川根室市長から地域の概要や北方領土問題についての話を聞くとともに、樺太・千島に関する映像や、この地域の国境問題についての講義が行われました。

【エトピリカ文庫】の紹介

二・ホ・ロには、北方領土問題や国境問題などの幅広い分野の資料を整理することで、北方領土問題の基礎知識の習得や領土問題の啓発などに資することを目的として、皆様からの寄付を受け、エトピリカ文庫が設置されています。本文庫は、平成19年度に開設以来、皆様からのご寄附、ご寄贈により年々蔵書を充実させております。文庫へのご寄附等の際は、根室市役所北方領土対策課へお問い合わせ願います。
(電話 0153-23-6111)



富山・和歌山少年少女（H23. 8. 7）



「第42回富山県北方領土復帰促進少年少女北海道派遣団」10名と「第9回和歌山県民会議北方領土中学生」5名は、8月7日の北方領土返還要求根室市民大会に参加したのち、二・ホ・ロにおいて、長谷川根室市長を表敬訪問するとともに、根室市内の中学生・高校生と「北方領土ピンゴ」などで楽しみながら交流し、4グループに分かれて北方領土問題を知ってもらうための方策について意見交換しました。

短い時間の中でしたが、いまの若い世代ならではの、TVニュースやCM、ドラマやミュージカルなどを活用したPRのほか、北方領土体操の実施などの提言も飛び出しました。

それぞれの地域で北方領土返還要求運動のリーダーとなるよう、みなさんの一層の活躍を期待します。

これからの主なイベント

- H23. 8. 21 (日) 第30回 北方領土ノサップ岬マラソン大会
 H23. 9. 4 (日) 第7回 北方領土まで歩こう会



新たな命が

二・ホ・ロの周辺には「市民の森」も隣接しており自然が豊かですが、最近エゾシカの親子やハクセキレイの親子が顔を出します。

新しい命が元気に育っているようです。



エゾシカの親子



ハクセキレイの親子